

(別紙3)

岩手県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ、イノシシ
技術名	捕獲通知システムを活用したくくりわなによる捕獲
実証地域	遠野市(附馬牛地区、土淵地区)
実証時期	令和4年8月～令和4年10月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

シカ及びイノシシによる農林業被害や自然植生被害が拡大しているが、捕獲の担い手は減少や高齢化が進んでおり、捕獲の効率化(見回り作業の省力化等)を図る必要がある。

3 地域実証する技術の概要

わなに接続した子機のマグネットが外れるとわなの作動を感知し、親機を經由して携帯電話等に捕獲通知のメールを送信するシステムの活用により捕獲労務の省力化について効果検証を行った。

使用機種：ほかパト(株式会社アイエスイー)
親機2台、子機50台

注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

- ①捕獲実証結果
- ・捕獲通知システムとわな(1市2地区で計50組)を約3か月間設置し、シカ27頭(イノシシ0頭)を捕獲。
- ②捕獲労務の軽減と捕獲効率の向上
- ・捕獲や錯誤捕獲に対する早期対応の観点から、通常は毎日見回りが必要になるが、約2日に1回以下の見回り頻度で捕獲活動を行うことができ、見回りの省力化の効果があった。
 - ・捕獲地点が事前に明らかなことから、止めさし作業の準備等がスムーズに行えた。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

5 その他

--

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。